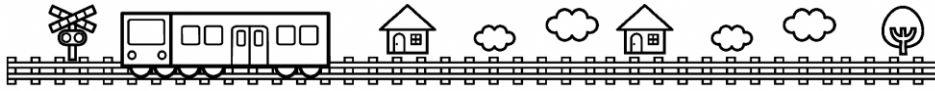


3月

尾久二だより

令和 3年 2月26日
荒川区立尾久第二幼稚園
園長 高橋 美香



1年間 ありがとうございます

園長 高橋 美香

梅が咲き、桜の蕾もふくらんできました。春はもうすぐそこです。コロナ禍の休園から始まった今年度も、残り一か月となりました。皆様には本当に様々な面でご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

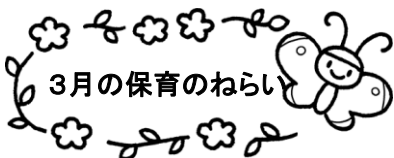
先日、学年のまとめとして、劇遊びの会を実施しました。12月に行っていたるか組さんは、劇の中でお互いに友達を応援する姿が本当に素敵でした。おうちの方々の声援もしっかり届き、お互いを大事に想う気持ちが響き合う、本当に素敵で特別な空間でした。りす組さんは、普段からとても元気な女の子が多く、練習ではダンスの熾烈なセンター争いがあったのですが、当日はたくさんカメラやビデオの前に、緊張する姿に成長を感じました。得意技を見せたいためにそれぞれが役を選びました。終わった後、みな満足そうな表情でした。うさぎ組さんは、みんな子豚さんになって、オオカミの「ドアを開ける」に声を揃えて「あけないよー」と言うところが可愛かったです。終わった後、あるパパが、「今日の夜ご飯は、豚肉にしようと思ってたけど、みんな可愛いから鶏肉にしようと思います。」という感想に、大笑いしました。



いるか組は、あと約3週間で修了式です。幼稚園生活の中で、できる事がたくさん増え、あいさつの声も大きくなりました。友達といっぱい遊んで、喧嘩して、仲直りして、たくさんの虫を捕まえ、花や野菜を育てました。子ども達には、このたくさんの経験を糧に、ますます成長して行って欲しいと願っています。保護者の皆様も、子どもの送り迎えから「修了」です。4月からは玄関で見送ることになりますね。ちょっと嬉しく、ちょっと寂しいといった心境でしょうか。

また、幼稚園生活を通して、保護者の皆様方も、よき“ママ友・パパ友”ネットワークができたのではないのでしょうか。これからもネットワークを生かし、子ども達を温かく見守ってください。

4月から進級するりす組・うさぎ組さんは、少しずつその自覚が芽生えてきているようです。「ぜんぶ食べないとおにいさんにならないから！」と頑張ってお弁当を食べる子もいます。きっと、新しく入園する子どものお世話も頑張ってくれるでしょう。保護者の皆様には、一年間を通して様々なご協力をいただき、心より感謝しています。本当にありがとうございました。これからは子どもたちと保護者の皆様の笑顔に満ち溢れた幼稚園となるよう、教職員一同努めていきますので、今後ともどうぞご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。



うさぎ組

- 自分の思いを出しながら、友達や異年齢児と一緒に遊ぶことを楽しむ
- 成長したことを喜び、進級することを楽しみに生活する
- 身近な自然に触れて、春の訪れを感じる



りす組

- 年長組になることへの期待をもって、自分で考えて行動しようとする
- 学級の友達と関わりながら、いろいろな活動に意欲的に取り組む
- 季節の変化に気付き、春の自然に興味や関心をもつ



いるか組

- 友達と共に過ごす喜びを感じ、自分たちで遊びや生活を進め、充実感を味わう
- 心身の成長を喜び合い、修了や就学への期待をもつ
- 気候や自然の変化に気付き、春の訪れを感じる

